

# ヒヤリハット報告

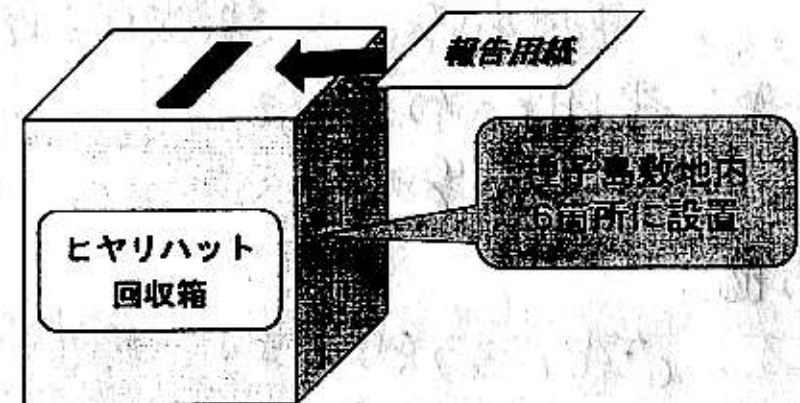
・平成20年末以降、改善したヒヤリハットの活用要領\*に基づき、運用してきている。(改善要領については平成20年度第4回宇宙開発委員会安全部会(H20.10.31)で報告)

・平成21年1月から12月までに報告されたヒヤリハットはH-ⅡA関連が18件、H-ⅡB(CFT含む)が28件、一般及び保全作業で23件の合計69件であった。

・主なヒヤリハットの事例を別紙に示す(フライト品への損傷や人身事故につながる可能性あり)。いずれも適切な対策を施している。

## \*ヒヤリハット活用要領の改善

- ・敷地内に回収箱を設置し起草しやくした。
- ・事象の種類に係らず、気がかりなども含めて幅広く起草することとした。
- ・安全教育等で周知し意識向上を図った。
- ・収集、処置対応等の役割分担を明確化して取り組んだ。  
など



# ヒヤリハット報告書(事例報告)

別紙

対象作業	発生場所	発生状況	想定される発生事故、不具合	推定原因／対策等
H-II B/ CFT作業	LP2煙道付近	夜間作業時、射点付近(LP2ダウンレンジ側)を歩行中、周辺が暗く転倒の危険を感じた。	人身事故(転倒)	照明の増設を実施した。
保全作業	第2衛星試験棟 第1試験室 20tクレーン	20tクレーン設備の点検中、クレーンの端部にあるクレーンの行き過ぎ防止リミッタ部の一部(ストライカー)が外れ、すぐ直下にある電源供給線上に落ちているのを発見した。	落下物による 人身事故  クレーンの故障 (電源線の短絡・損傷)  落下物による フライト品の損傷	クレーンの(横行)可動ケーブルが、巻き寄せた際にストライカーにあたり、落下したと推定。可動ケーブルがストライカーにあたらないよう、ケーブル固定位置等を変更した。(他のクレーンについても水平展開で点検を実施した。)
H-II B試験機 打上げ作業	VAB12F GSE収納室	打上げ前に実施するレイトアクセス用の治工具(スライド床)を、VAB12F昇降床からGSE収納室へ片付ける際に、作業者が押して移動中、収納室入口扉の段差に車輪がはまり一度止まった。勢いをつけて押したところ、段差は越えたが勢いを止められず、収納室壁に衝突した。	人身事故 (挟み込み等)  フライト品の損傷	段差を安全、簡単に通過させる手順ではなかった。通過用スロープの準備、収納室の養生、後方よりロープで引っ張る等手順書の見直しを行なった。(他の重量物運搬作業についても水平展開した。)
H-II B試験機 打上げ作業	VAB2	SRB-A機体系最終準備のサーマルカーテン取付作業中に工具(トルクレンチ)を落下させて、ノズルに接触させた。ノズル表面は養生していて、損傷はなかった。なお高所作業(2m以上)でないためテザーは装着していなかった。	落下物による フライト品の損傷	高所でなくても工具落下が機体損傷につながる可能性の高い作業は、テザーの使用、機体側の養生を徹底した。(水平展開として同種の作業を洗い出し、落下防止対策、養生等の対処を行なった。)